

平成26年度国土交通省調達改善計画の概要

- 調達コストの縮減、調達対象の品質確保等を図るため、平成26年度調達改善計画を策定。計画策定、実施、自己評価及び次計画への反映というP D C Aサイクルにより推進。
- 計画策定及び自己評価（半期に一度）に当たっては、外部有識者に意見を求める。
- 調達全般にわたり不断の改善に取り組むとともに、重点的に取り組む分野を選定し実施。

I. 国土交通省の調達の現状

- 調達の全体像（24年度）
→ 約 18万件、約 2.7兆円
- ◇ 「公共工事等」
件数の約20%、金額の約87%
- ◇ 「物品・役務等」
件数の約80%、金額の約13%

- 共同調達の実施状況
- ◇ 他の入居官庁とともに
9品目において実施済。
- ◇ 未実施品目についても、
他省庁の実績をもとに実施
を検討する必要。

- 競争性のない随意契約、
一者応札の状況
- ◇ これまでの取組により、競争性
のない随契は概ね減少傾向。
- ◇ 一者応札の件数もほぼ横ばい
で推移。

II. 改善に向けた取組

(1) 重点的に取り組む分野

- ① 公共工事の調達
→ 総合評価落札方式における競争参加者・発注者双方の事務手続の負担軽減等を図るため、施工能力評価と技術提案評価の二極化を推進する。
- ② 共同調達の拡大
→ 他省庁で共同調達実績がある当省未実施品目について、共同調達の適否を検討の上、実施計画を策定する。
- ③ MPS（マネージド・プリント・サービス※）業務の推進
→ 総合評価方式を前提としたMPS導入計画を策定する。
- ④ 職員のスキルアップ
→ 会計事務職員に対する調達改善に係る研修を実施する。

(2) 継続的な取組等

- ① 競争性のない随意契約の見直し
→ 全案件について競争性向上について検証
- ② 一者応札の見直し
→ 一者応札となった原因の分析・検証

<その他の主な取組>

- 少額契約での競争参加機会の拡大
- コピー経費の節減
- 雑誌、定期刊行物等の購入部数の縮減
- 内部監査の実施
- 公正入札調査会議の活用 等